

日常を支える公共交通

これまで、これからも

長崎市では、路線バスや路面電車などによって移動サービスが提供され、公共交通の徒歩圏人口カバー率は80%と全国平均を大きく上回る水準で市民の皆さんの移動を支えています。

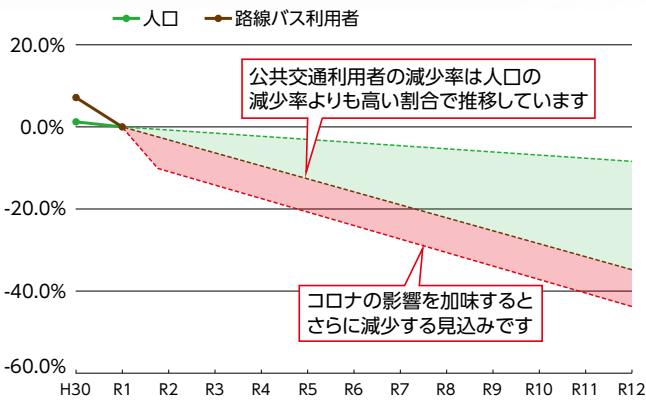
しかし、人口減少や通学・通学の利用の減少などで公共交通の利用者数が減っています。それによって公共交通事業者

の収入が下がり、減便や運賃の値上げなどに繋がって、さらに利用者が減少するという状況です。

市民の皆さんの日常生活の利便性を確保するために、持続可能な公共交通機関にする必要があります。そのために、事業者や関係者と行政が連携・協力し、今後取り組んでいく「長崎市地域公共交通計画」を策定し、ハブ＆スポーク型運行などの取り組みを進めています。

社会構造が変わっても公共交通のサービスの質をできる限り落とさないよう、長崎市ではさまざまな取り組みを行っています。今回は長崎市の現状や具体的な取り組みを紹介します。

市の人口と公共交通利用者数の減少率の推移予測



出典:長崎市地域公共交通計画

